

第二次瑞浪市環境基本計画(後期)施策進捗状況

資料1

※赤字は第二次瑞浪市環境基本計画(後期)で修正、終了する指標、施策です。

| 基本目標 | 基本施策 | 具体的施策 | 数値説明 | 担当課 | 実績値 | | | | | | 目標値 (令和5年度) | 令和5年度 達成状況 | 進捗状況の内容 | |
|--|-----------------------------------|---|-----------------------|-----------------------------|-------------------------------|-------------------------------|-----------------------------|---------------------|-----------------------------|---------------------------------|---------------------|--|---|---|
| | | | | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | 令和5年度 | | | | |
| 1 瑞浪市の 風土の基 盤である 里地・里 山や河川 等水辺の 維持・保 全を図り ます | | 地元産の農産物を食べるように心がけている市民の割合 (市民アンケートによる調査結果) | | 農林課 | 55.7% | 56.6% | 54.1% | 50.8% | 54.5% | 59.8% | 77.4% | 4 | 農産物等直売所を拠点に地元農産物のPRを実施しています。 | |
| | ① 里山の保全 と活用 | 鳥獣による農林水産業等に係る被害の防止のための特別措置に関する法律に基づく被害防止計画を策定し、鳥獣被害対策実施隊による加害鳥獣の駆除を行います。 | 年間被害額 | 農林課 | 186万円/年 | 95万円/年 | 306.8万円/年 | 133.4万円/年 | 505.9万円/年 | 432.5万円/年 | 0円/年 | 1 | ニホンジカの被害において、飼料作物だけではなく農作物の被害が増えているため、従来のイノシシ用の防護柵だけではなくシカ用の防護柵での対策を行います。依然としてイノシシの被害が多く、引き続き防護柵の補助及び捕獲の強化を行いつつ、緩衝帯の設置を推進します。 | |
| | | | 被害防止計画 駆除頭数 | 農林課 | 686頭/年 | 98頭/年 | 125頭/年 | 142頭/年 | 202頭/年 | 261頭/年 | 700頭/年 | 2 | 岐阜県実施の調査捕獲を含めた、令和5年度イノシシの捕獲頭数は451頭でした。実施隊及び被害防止捕獲従事者の捕獲意欲が低下なく、今後も継続して捕獲ができるよう、近隣市の状況を注視し報奨金等を決めていく必要があります。 | |
| | ② 食と生命を 支える農地 の保全と修 復 | 農産物等直売所出荷登録者数を増やします。 | 登録者数 | 農林課 | 196人 | 201人 | 197人 | 203人 | 214人 | 206人 | 230人 | 4 | JAが実施する野菜づくり塾を通じて出荷者を募集することで、令和4年度より新規出荷者数が2人増加しましたが、高齢化や転出等により10人減少、出荷登録者数の合計は前年から8人の減となりました。地産地消の促進と地域活性化を図るため、新規出荷者の増加に努めます。 | |
| | | 優良農地の現状を維持若しくは面積を増やします。 | ほ場整備面積 | 農林課 | 400.00ha (累計) | 402.43ha (累計) | 407ha (累計) | 407ha (累計) | 407ha (累計) | 407ha (累計) | 406.5ha (累計) | 5 | 岐阜県が実施主体となり、鶴城ほ場整備事業が実施されており、令和2年度でほ場の整備が完了しました。 | |
| | ③ 地域の水循 環の保全と 修復 | 所有する森林に対する補助事業等を活用し、間伐等の整備を行います。 | 間伐面積 | 農林課 | 779.78ha (累計) | 916.88ha (累計) | 967.88ha (累計) | 980.88ha (累計) | 1,201.88ha (累計) | 1236.88ha (累計) | 800.00ha (累計) | 5 | 森林環境譲与税及びびぎふ森林環境税を活用した事業や、林業経営者による間伐及び皆伐を実施しており、目標値を達成しました。 | |
| ため池整備事業を活用した農業用ため池の整備を行うとともに、災害防止のため、利用のなくなったため池の廃止を行います。 | | 整備及び廃止件数 | 農林課 | 0箇所 | 0箇所 | 0箇所 | 2箇所 | 廃止件数：3件 (累計) | 廃止件数：4件 (累計) | 未利用ため池の調査結果に基づき令和元年度以降順次廃止(10件) | 2 | 令和5年度は用途廃止を1件追加しました。ため池の廃止を促進するため、未利用のため池の廃止を地元へ提案を行います。廃止工事についても、県営と団体営により実施します。 | | |
| ④ 多様な動植 物の生息・ 生育環境の 保全と創出 | 生物多様性の保全のため、特定外来生物の調査や駆除を行います。 | オオキンケイギク 駆除重量 | 環境課 | 970kg/年 ※乾燥前の重量 になります | 1,290kg/年 ※乾燥前の重量 になります | 3,920kg/年 ※乾燥前の重量 になります | 940kg/年 ※乾燥前の重量 になります | 500kg/年 | 330kg/年 ※乾燥前の重量 になります | 1,500kg/年 ※乾燥前の重量 になります | 1 | 4月にボランティア、6月に職員による抜根作業を実施しました。区長会にも事前に説明を行い、6月の土岐川河川清掃時にも作業を実施しました。今後も土岐川河川清掃時に啓発等を行い、駆除拡大を図ります。 | | |
| 2 市民一人 ひとりが 環境に配 慮し行動 すること で、生活 の質の向 上につな げます | | ごみの4R活動に取り組んでいる市民の割合 (市民アンケートによる調査結果) | | 環境課 | 68.6% | 72.5% | 79.9% | 78.2% | 79.9% | 81.9% | 81.0% | 5 | 割合は、微増で推移しており、引き続き広報等で廃棄物減量の周知を図ります。 | |
| | | 省エネルギー・新エネルギーへの取組みをしている市民の割合 (市民アンケートによる調査結果) | | 環境課 | 49.0% | 47.8% | 49.7% | 47.0% | 50.6% | 57.7% | 59.1% | 4 | 近年は、増加傾向で推移しています。「瑞浪市エネルギー利用最適化事業補助金」、「瑞浪市太陽光発電設備等設置費補助金」にて、蓄電システム、次世代自動車用充電システム(V2H)、太陽光発電パネル等に補助金を交付しています。引き続き広報等で周知を行い、普及を推進していきます。 | |
| | | 水洗化推進により、市内の川、身近な水路がきれいになったと感じている市民の割合 (市民アンケートによる調査結果) | | 上下水道課 | 71.4% | 65.3% | 67.6% | 64.5% | 61.8% | 63.6% | 66.3% | 4 | 検針の際に下水道の接続や合併処理浄化槽への転換を依頼する文書を配布していることに加え、広報で呼びかけをしています。また、合併処理浄化槽の設置に対する補助金を交付することで水洗化を促進しています。 | |
| | ① 循環型社会 づくりの推 進 | 資源ごみリサイクル率の向上に努めます。 | リサイクル率 | クリーンセンター | 20.5% | 19.6% | 20.1% | 20.2% | 18.5% | 20.5% | 26.0% | 4 | 数値の把握が困難なスーパーやドラッグストア等でのペットボトルなどの資源回収も普及しており、市民全体のリサイクル意識は向上していると考えています。また、令和5年度は5類に移行したこともありコロナ以前の開催状況に戻ったことで、リサイクル率が改善されました。また、家庭用陶磁器の回収も開始し、リサイクル原料として活用しています。今後も引き続き、便利帳、市内の小学4年生の施設見学時の学習による家庭への普及、ごみ資源分別アプリでの周知及びごみの出し方出前講座の開催により市民のリサイクル意識向上に努めます。 | |
| | | | 可燃ごみ・不燃ごみ処理量の削減を進めます。 | 焼却量 | クリーンセンター | 10,446t/年 | 10,460t/年 | 10,271t/年 | 10,115t/年 | 9,898t/年 | 9,292t/年 | 10,000t/年以下 | 5 | 令和5年度は、目標値である可燃ごみ焼却量が10,000トン以下を達成しました。達成の要因として、廃棄物処理手数料の改定に伴う家庭ごみ、事業ごみの減量化にご協力頂けたと考えています。今後、可燃ごみ処理量の削減を進めるため便利帳やごみ資源分別アプリでの周知に努めます。 |
| | | | | 埋立量 | クリーンセンター | 2,296t/年 | 2,506t/年 | 2,918t/年 | 1,953t/年 | 2,181t/年 | 2,021t/年 | 2,000t/年以下 | 4 | 令和5年度は、市内で多くの住宅火災が発生したため火災ごみの搬入量が585トンと前年度より124トン増加しました。しかし火災ごみを除いた埋立量は、1,436トンとなり目標値を達成しています。達成の要因として、令和4年度より施行した不燃物最終処分場に持込む産業廃棄物の総量規制を実施と廃棄物処理手数料の改定に伴う家庭ごみ、事業ごみの減量化により埋立量の減少に繋がったと考えています。 |
| | | | 使用済小型家電回収品目の拡充をします。 | 回収品目 | クリーンセンター | 22品目 | 23品目 | 23品目 | 23品目 | 23品目 | 23品目 | 23品目 | 5 | 目標値である23品目を達成しました。令和7年度から高品位の家電に絞り、適正化を図ります。 |
| | ② エネルギー 循環の効率 化 | 公共施設におけるCO2削減に努めます。 | 削減率 | 環境課 | △2.0% (平成25年度比) | △17.1% (平成25年度比) | △23.6% (平成25年度比) | △23.1% (平成25年度比) | △22.1% (平成25年度比) | △14.2% (平成25年度比) | △10.0% (平成25年度比) | 5 | 令和3年度、令和4年度よりCO ₂ の排出量が増加していますが、令和2年度以前と比較すると、クリーンセンター等の高圧電力を使用する施設における電力会社の見直しにより、電力使用に伴う二酸化炭素排出量が大幅に減少しています。また、スーパーエコスクールに認証された瑞浪北中学校が令和元年度にゼロエネルギー化を達成するなど、脱炭素化に向けた取り組みが行われています。 | |
| | ③ 水質浄化対 策の推進 | 水洗化率の向上に努めます。 | 水洗化率 | 上下水道課 | 82.70% | 83.00% | 83.10% | 83.30% | 83.34% | 83.46% | 90.00% | 4 | 検針の際に下水道の接続や合併処理浄化槽への転換を依頼する文書を配布していることに加え、広報で呼びかけをしています。また、合併処理浄化槽の設置に対する補助金を交付することで水洗化を促進しています。 | |
| | ④ 健全な生活 環境の保全 対策の推進 | 空き家・空き地バンクが活用されるよう努めます。 | 成約件数 | シティプロモーション課 | 41件(累計) | 45件(累計) | 50件(累計) | 52件(累計) | 57件(累計) | 66件(累計) | 100件(累計) | 3 | 令和3年度に開設した移住定住ポータルサイト「いっしょに育つみずなみ」に空き家・空き地バンク専用ページを設け、制度の利用促進を進めています。また、空き家関連補助制度の周知や、地域のまちづくり組織と連携し、バンクへ登録を促す活動を行っており、成約件数の増加に繋がっています。 | |

| 基本目標 | 基本施策 | 具体的施策 | 数値説明 | 担当課 | 実績値 | | | | | 目標値 (令和5年度) | 令和5年度 達成状況 | 進捗状況の内容 | | |
|---|-----------------------|---|------------------------------------|---------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------------------|---------------|----------|---|--|
| | | | | | 平成30年度 | 令和元年度 | 令和2年度 | 令和3年度 | 令和4年度 | | | | 令和5年度 | |
| 3 瑞浪市らしい、風土を活かし人とのふれあいができる文化環境を創出します | | 自分のまちに誇りをもてる、魅力のあるまちなみだと感じる市民の割合 (市民アンケートによる調査結果) | | 都市計画課 | 43.7% | 49.9% | 46.8% | 43.4% | 42.3% | 38.6% | 53.7% | 3 | 歴史を感じることができる景観の維持や中山道等の歴史的な資産の保存を推進し、多くの方に誇りを持ってもらえるよう努めています。また、瑞浪駅周辺まちづくりを通して、ウォークアブルなまちなみとシンボリックな施設の整備を検討し、魅力を感じられるまちづくりを推進しています。 | |
| | ② 瑞浪市らしい地域資源の保全と活用 | 中山道（大湫宿含む）に関する観光に取組みます。 | ボランティアガイド利用者数 | 商工観光課 | 1,954人/年 | 1,597人/年 | 156人/年 | 1,089人/年 | 250人/年 | 1438人/年 | 4,500人/年 | 2 | 中山道にはインバウンドを含め多くの観光客が訪れているが、以前に比べボランティアガイドの利用者は減少しています。多くの方に中山道の魅力を紹介できるよう、ボランティアガイドの情報を広く発信していきます。 | |
| | | 市内の指定文化財の指定件数の増加に努めます。 | 指定件数 | スポーツ文化課 | 108件 (累計) | 106件 (累計) | 105件 (累計) | 106件 (累計) | 105件 (累計) | 105件 (累計) | 120件 (累計) | 4 | 指定件数に増減はありませんでした。目標を達成するため引き続き市内において文化財の調査を行っていきます。 | |
| | ③ 愛着のあるふるさとづくりの推進 | 文化施設・歴史案内等ボランティアによる講座等の開催により、市民が地域の歴史・文化と親しむ機会の創出に努めます。 | ボランティアガイド登録者数 | 商工観光課 | 21人 | 20人 | 24人 | 22人 | 16人 | 16人 | 65人 | 1 | ボランティアガイドの高齢化により、登録者数は減少しています。引き続きかたりべの会と連携し、ボランティアガイドの募集を継続して行います。また、市民が地域の歴史、文化を学べる講座などを行い、ガイドの登録者数の増加を図ります。 | |
| 4 市民の誰もが参加でき、継続性のある計画の推進体制を実現します。 | ① 行政と市民との協働体制の整備 | 里親制度による、公共施設の美化、保全活動を行う市民活動団体に対する支援を行います。 | 都市公園登録団体 | 都市計画課 | 19団体 | 18団体 | 22団体 | 22団体 | 23団体 | 23団体 | 23団体 | 5 | 昨年度の実績報告時点から、団体の里親登録に変更はありませんでした。新型コロナウイルス感染症拡大によって活動を自粛する時流が残っていたり、高齢化を理由に活動回数を減らさざるを得ない団体もありました。 | |
| | | | 市道登録路線 | 土木課 | 156路線 | 166路線 | 166路線 | 176路線 | 187路線 | 210路線 | 132路線 | 5 | 里親制度の市道登録路線数は令和4年度から23路線増加しました。令和5年度の目標値を132路線と設定していましたが、目標値より78路線も多く登録路線数が増加し、目標値を達成することができました。里親制度周知(瑞浪市HPや里親制度ポスター配布)の効果により、市道登録路線数が増加したものと考えています。 | |
| | ② 環境教育・体験学習の推進 | 環境学習の機会創出に努めます。 | 環境学習実施回数 | 環境課 | 8回/年 | 11回/年 | 1回 | 1回 | 7回 | 5回 | 13回/年 | 2 | 従前のごみの出前講座、カワゲラウォッチングに加え、新たに脱炭素セミナーを開催しました。今後も継続的に環境学習がおこなえるよう努めていきます。 | |
| | | | 環境フェアみずなみを開催することで、市民の環境意識の向上に努めます。 | 入場者数 | 環境課 | 550人/回 | 1,000人/回 | — | — | 150人 ※2023年度は規模を縮小して開催 | 300人/回 | 1,600人/回 | 1 | 令和元年度から健康まつりと合同開催とし、入場者数の増加に努めていますが、令和4年度は、例年の会場であった総合文化センターが改修のため、規模を縮小して、市役所西分庁舎会議室で開催しました。今後も新たな出展者を増やすことで、入場者数の増加に取り組んでいきます。 |
| | | | 自然観察会を開催します。 | 開催件数 | スポーツ文化課 | 3回/年 | 6回/年 | 13回/年 | 13回/年 | 30回/年 | 5回/年 | 10回/年 | 3 | 新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、令和4年度と比べ開催件数を大幅に減らしました。今後はコロナ禍以前のように開催件数の増加を図ります。 |
| | ③ 事業所の環境保全意識の向上 | 事業所に起因する悪臭や水質汚濁等の苦情に対し、原因及び対策に対する啓発と指導を継続していきます。 | 苦情件数 | 環境課 | 2件/年 | 3件/年 | 3件/年 | 6件/年 | 1件/年 | 4件/年 | 0件/年 | 1 | 苦情があった際に、状況に応じて悪臭、水質の測定を実施することがあります。基準を超過していない場合でも相談を受けますが、原因者が特定できる場合は協力を依頼しています。 | |

達成状況（目標値に対する令和5年度実績値） 【1：25%未満 2：25%以上50%未満 3：50%以上75%未満 4：75%以上100%未満 5：100%以上】